

管弦楽部



管弦楽部が教室でミニコンサートを開催した。およそ20分間の演奏では、アラジンや美女と野獣など、今年で創立100周年を迎えるディズニーの曲を中心に、クラシックやJ-POPの名曲を披露した。指揮者の合図に合わせた迫力のある演奏に、観客も見入っていた。中には、リズムに合わせて体を揺らす観客も見られ、教室全体が音楽を楽しんでいた。また、ハリーポッターの演奏では、指揮棒が魔法の杖になるなどの工夫がなされていた。

Singing Club



バンドステージで「Singing Club」の演奏が両日行われた。ボーカルやコーラス以外にもトランペットやサクソフーンなどの管楽器を使い、多彩な音色を奏でた。ボーカルの歌唱力や楽器ごとの幅広い表現で観客を魅了している姿が印象的だった。

編集後記

大久保賢斗 (営2年)

コロナが収まってきたからか、今年の雄飛祭は去年に比べて店舗数も来場者も多く、とても賑わっていました。雄飛祭実行委員会の方を始め、たくさんの人たちが頑張って下さったから実施できて、今回の取材で改めて気付かされました。

土田優衣 (営2年)

今年の雄飛祭はコロナ禍も明け、多くの在学生と来場者で大変盛り上がっていました。大学の校舎内だけではなく、今年の春完成した獨協大学コミュニティスクエアでも催しものが行われ、今までよりもレベルアップした雄飛祭でした。また、様々な団体の発表や展示の取材撮影を通して、それぞれの団体の魅力や活動の成果を感じることができました。

柳澤真理子 (営2年)

コロナ禍が明けたこともあり、今年の雄飛祭は昨年よりも多くの来場者で賑わっていました。ダンスサークルやバンドでは、観客が自由に声出しをする場面がみられ、盛り上がりを感じました。また、様々なクラブやサークル、ゼミの展示を通して、それぞれの団体の日々の活動の成果を感じることができました。

チアリーディング部



雄飛ホールにて、チアリーディング部がチアダンスを披露した。大人数であるにもかかわらず、息ピッタリの動きと華麗なダンスは観客を釘付けにした。パフォーマンスの随所でアクロバティックな大技が披露され、観客をハラハラドキドキさせたが、無事成功し大きな歓声があがった。

第59回 雄飛祭

With All My Heart

第59回雄飛祭が11月4日(土)～5日(日)に開催された。

テーマにふさわしい展示・パフォーマンスが行われた2日間となった。

開祭式



雄飛ホールにて行われた開祭式では、岡垣知子副学長の開祭の挨拶に引き続いて、書道研究会による書道パフォーマンスが披露された。一つ目の作品では迫力のある「雄飛祭」の文字が書かれ、二つ目の作品では今年の雄飛祭のテーマである「愛」を謳った曲と詩で観客に感動を与えた。最後に、雄飛祭実行会松本進之介委員長の開祭宣言をもって雄飛祭がスタートした。

DUコンテスト



アリーナで行われたDUコンテストは、ファイナリスト4名の登場からスタートした。その後、自己紹介とコンテストへの意気込み、ファッションショー、特技披露が行われた。ファッションショーでは、一着目にドレスブランド「ドリードル」の衣装を、次に被服サークル「DNS」の衣装を着用した。審査の結果、グランプリには〇〇さん(営3年)、準グランプリには〇〇さん(関2年)が選ばれた。コンテストに挑戦することで、ファイナリストたちの美しさや輝きがさらに高まったように感じられた。